科目名	治療総論Ⅰ－医療概説	講師	非常勤講師
履修時期	2年　前期	単位数	1
		時間	30（内4）

＜科目設定理由＞

『治療総論Ⅰ』は、「医療概説」・「放射線医学」・「リハビリテーション」で構成される。

医学の父と呼ばれるヒポクラテスは「病気は人間が自らの力をもって自然に治すものであり、医者はこれを手助けするものである」と語っており、治療や医療行為は人間の身体にもともと備わっている治癒力を助けるものでなくてはならない。すなわち、患者の病態を改善し健康を回復するための医師による行為が治療である。

医学は病気を診断し治療を行うことで、病気を治癒させたり、現在生じている症状を緩和・消失させ今後おこりうるであろう健康問題を低減させる。看護師が対象の回復過程を支援するためには、医師の行う診断・治療についての理解が不可欠といえる。

ここでは、医療の歴史と現状について幅広く学び、現代の医療に求められる知識や技術、倫理観およびチーム医療ついて理解することをねらいとして科目を設定する。

学習目標	医療の歴史と現状について理解でき、医療に従事するものとしての知識と心構えを養うことができる。
学習内容	1．保健・医療・介護－切れ目のないサポートの実現　…**第3章** A…保健・医療・介護を取り巻く社会環境の変化 D…わが国の医療システム　＊地域医療連携を中心に E…救急医療・集中治療 I…チーム医療 2．医療と社会　…**第4章**（A・D・E） A…医の倫理 D…最先端医療 E…医療情報
授業形態	講義・グループワーク
評価方法および評価の観点	課題レポート
テキスト	系統看護学講座　専門基礎分野　健康支援と社会保障制度①「医療概論」 医学書院
参考資料・図書	授業内で適宜提示の予定
履修上の留意事項・受講条件	欠席のないように受講のこと